岡山県の地価と新型コロナウイルス

岡山県の公示地価

土地取引等の目安となる公示地価が発表されました。
新型コロナウイルスの影響で、全体では下落に転じています。
岡山県内における平均変動率はマイナス 0.5%で、2020 年に 28 年ぶりの上昇を記録していましたが、再び下落しました。
1 ㎡あたりの地価が最も高かったのは、商業地ではＪＲ岡山駅周辺、桃太郎大通り沿いの北区本町で、152 万円です。
住宅地で地価が最も高かったのは、岡山大学農学部南、北区津島新野と北区伊島町で 1 ㎡あたり 16 万 9,000 円です。
岡山県庁の発表によりますと、地下の上昇を牽引していた岡山市や倉敷市の中心部が、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の抑制で停滞し、全体として再び下落に転じたと分析しています。

岡山県のコロナ情勢

岡山県内における新型コロナウイルス感染者数は、2021 年 3 月 31 日時点で 2,600 人を超えています。緊急事態宣言が解除されてから、岡山駅周辺は再び賑わいを見せており、岡山県庁の発表によると、3 月時点での観光客数は、前年比の 80%を記録しています。
2021 年に入ってから、県内の感染者数が若干落ち着きを見せた事と、天候が良いという条件が重なったからだと思われます。
また、岡山市では、4 月 12 日から高齢者施設の入所者を対象としたワクチン接種が決定しています。

まとめ

新型コロナウイルスが発表されてから、1 年以上が経過しました。
不動産市況について、緊急事態宣言発令時は若干落ち込みを見せていましたが、2 月 3 月で回復の兆しを見せており、多くの売買取引をお手伝いさせて頂きました。不動産市況自体動いていますので、売りたいお客様、買いたいお客様、まずはお電話でお気軽にお問合せください。